

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 9 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200388		
法人名	医療法人社団たくみ会きむらクリニック		
事業所名	安芸ひまわり		
所在地	広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話) 082-821-2525		
自己評価作成日	平成22年9月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3473200388&SCD=320
----------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成22年10月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>クリニックが経営しているグループホームなので、医療的にバックアップ体制が整っている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>入居者ひとり一人が、笑顔で毎日過ごせるようにと考え、職員は気配りを常にして欲しいと指導されている。清潔・言葉使い・あいさつが、ホームでの日々の生活で大事であると考え実践している。経営母体が医療機関であるので、毎日ホームに来る看護師が健康状態を主治医に報告し、迅速な対応がなされている。全館を禁煙とし、火災が起こらないようにしている。また、家族の要望があれば、看取りを行う方針であり、実際に看取りを行った例がある。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮らしていけるよう支えていくことをミーティングや掲示により確認をしている。	職員ミーティングの際に、法人の理念「地域社会に貢献、奉仕する」について、皆で確認している。	法人の理念をより共有し実践するために、年間の目標を設定し職員全体で努力し、目標の達成状況を評価することが今後は望まれます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所の人とのあいさつ、お話、声かけをしたり、祭りなどの行事の参加やボランティアの受け入れをしている。	町内会の秋祭りに参加したり、海田町の福祉センター祭りに入居者と共に参加する。また、地域の中学生の職場体験を毎年受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	会議で説明、理解をしてもらい、地域の行事の参加や子供たちとの交流をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議の出席者の意見を会議後のミーティングで検討、対応をしている。	2か月に1回開催が基本パターンであることは理解しているが、出席者の都合等で昨年度は3か月に1回の開催となった。家族や地域住民代表等が参加し、災害時の地域住民への協力要請を行い賛同を得ている。	昨年度は地域包括支援センターの職員の参加が少なかったため、今後は行政の代表にも参加して頂き意見交換をして頂きたい。また、参加者に関しても、地域の幅広い職業の人に参加を要請したり、もっと活発な意見交換ができる場となることが望まれます。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	管理者が町の方へ訪問したり、町の方が来られたり、話をする機会を作っている。	町の介護保険課に事務手続きに行った際、ホームの状況を説明し協力を要請している。また、後見人に関することについて問い合わせを行ったことがある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないようにミーティングや資料の回覧などで確認をして理解するようにしている。やむをえない場合を除いて、鍵をかけないようにしている。</p>	<p>職員ミーティングの際に、具体例を挙げて、身体拘束をしないようにと注意を喚起し指導している。厚生労働省の資料を基に「身体拘束」について、職員に説明している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会や資料などで学ぶ機会を設け、虐待が見過ごされることがないように職員同士が気をつけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>セミナーや勉強会の参加や資料などで学ぶ機会を設けている。必要性があれば、その都度対応している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の凍結、解約、改定などは、利用者や家族が納得出来るように相互に話し合いをしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、即、対応している。町への連絡先は、契約書に表示してある。</p>	<p>サービスも質向上のためには、ご家族からの要望を聞くことが大事と考え、職員と管理者は、家族面会時に、家族から要望を聞くようにしている。今のところ苦情報告書に記載するような苦情は寄せられていない。</p>	<p>入居者の家族が集まり、家族が意見交換する場を設けるとか、年1回程度は、家族との会議を、運営推進会議や入居者行事と同時開催するなど、家族が話しやすい雰囲気を出し、要望を把握する工夫が、今後は望まれます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、管理者が機会を設けたり、ミーティングで話し合いをして対応している。	職員ミーティングの場で、介護の方法や問題点について、様々な意見交換がなされている。職員から生活用品のダブル発注を改善する案が提案され、発注の見直しを行うことにより、ミスが少なくなった例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員の実績に応じて、担当、責任を持たせて、それに応じた手当をつけている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	機会をみて、研究会やセミナーなどへの参加や資料を配布したりしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の特別養護老人ホームや居宅介護支援事業所、地域包括センターなどの交流機会があり、情報交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人からの意見を聞いたり、質問したりして、納得出来るように説明しながら進めていくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族からの意見を聞いたり、質問したりして、納得出来るように説明しながら進めていくようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族などから現状、要望を聞いて、今必要としているサービスを検討して対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は本人との一方的な関係にならず、学び、支えていく相互の信頼関係がよくなるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員は家族に相談をして、一緒に考えてもらいながら信頼関係をよくして本人を支えていくようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの場所に散歩に出かけたりしている。	入居者が知人や孫に会いたいとの要望を聞くと、職員は連絡をし面会に来てもらったり、お墓参りに行きたい希望については家族に連絡し対応してもらおうなど、馴染みの関係の保持を大事にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	いろいろな行事を開催したり、参加したりして利用者同士の交流をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	引き続き関係がある利用者や家族などには、連絡を取り合ったり、面会したりして、関係を保つようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各本人の要望をできるだけ意向に沿うようにして、難しいことは説明をしたりして納得するようにしている。	入居者との、日常会話の中から、本人の意向を聞くように努めている。「寿司を食べたい」との要望で、回転ずしに行き、外食を楽しんだことがあった。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの環境を考慮しながら、本人に合った環境づくりを整えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人の状況をみながら、出来ること、支えていくところを見極めながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族などの意見を取り入れ、ミーティングで検討し、現状を踏まえた新たな介護計画を作成している。</p>	<p>職員ミーティングで、入居者の状況を話し合い、計画作成者がケアプランを作成している。また、モニタリングも、職員の話し合いにより作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子などは各人の記録に記入をしておき、ミーティングで介護計画を見直している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>事業所で出来る範囲のことは、随時、柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域のイベントに参加したり、ボランティアを受け入れたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族などの希望を聞いて、かかりつけ医と事業所の関係をよくしていくようにしている。時には、他の医療機関も受けたりしている。</p>	<p>経営母体が医療機関であり、協力病院があるので、主治医は週に1回、入居者を診察し、各入居者の状況を把握している。また、朝・夕には、協力病院の看護師がホームに来て、入居者の健康状況を観察し、主治医に報告しているので処置が必要な際には迅速な対応ができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員はいつでも看護職員との相談ができ、必要があれば受診や看護を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	いつでも対応が出来るように情報交換をして、地域の医療機関との連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人や家族の意向に沿うように、関係者と協議しながら進めている。看取りは、受け入れている。	看取りまで行うことは対外的には表明していないが、以前、家族の強い要望により、看取りを行ったことがある。今後も本人・家族の要望を最大限受け止める柔軟な支援を行なう方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで情報を共有して、マニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を実施したり、運営推進会議で地域の方々に協力をお願いしている。	施設全体を禁煙とし、また台所の設備も電化とし、火災が起きにくい設備対応となっている。運営推進会議で、災害時の地域住民への協力要請を行い、協力が確認された。今年度は、避難訓練に消防署が参加し避難方法を指導してもらう予定で、地域住民も参加することになった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	誇りやプライバシーに気を使い、配慮して、丁寧な言葉で対応をしている。	入居者に対して丁寧な言葉使うことが大事であると考え、職員に言葉使いに注意するよう指導している。また、車いすを動かす際には、声かけをする配慮をしている。行事の写真に自分の顔を公表してほしくない人には、掲示しないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように心掛けたりして、働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の希望にあうように過ごせるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の望むように、身だしなみやおしゃれができるように支援したり、時には、美容店に頼むようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る限り一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事に参加してもらうようにしている。	入居者は、自分の食べたい物をなかなか話せない人が多いが、職員は入居者に話しかけ、希望を聞き、入居者の好みの献立にするようにしている。正月や敬老の日には、お弁当を取り皆で食事を楽しんでいる。健康に配慮したお茶を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	一人ひとりの日々の記録をみれば状況が分かるようにしており、状況をみながら対応している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、一人ひとり歯磨きをしており、毎週一回、歯医者が来られ診てもらっている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	定期的にトイレに向かうようにして、できるだけ失敗やおむつの使用を減らすようにしている。	入居者の排せつパターンを把握して、トイレ誘導をしている。おむつをできるだけ使用せずトイレに誘導するようにしている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	医師、薬剤師、看護師に相談して、食事、運動を取り入れながら便秘に対応し、予防をしている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	できるだけ一人ひとりの希望にあうようにしている。	大まかな入浴の時間帯は決められているが、入居者の希望を優先している。入浴の希望があれば予定外であっても対応するようにしている。また、入浴剤を入れ、楽しい入浴となるよう配慮されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	一人ひとりの状況をみながら、 休息、安眠をとるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	一人ひとりの薬についての資料 が薬局から届いており、それら を理解して、服薬をして、状態 の変化を確認している。時には 、薬剤師に相談をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	今までの環境を考慮して、役割 を担当してもらったり、趣味や 楽しみごとを一緒にしてみたり している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	希望があれば、自社の車で出か けるようにしたり、家族などに 協力してもらいながら出かける ようにしている。	天気の良い日は散歩に行くよう にしているが、車いすの入居者 が多いので、遠くまでは行け ない状況である、しかし、必 ず1日に1回は外に出て、新鮮 な空気を吸うようにしている。 入居者が買いたい物は、近く のスーパーに車でお連れするこ ともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	一緒に買い物に出かけ、お金が 使えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるようにしている。携帯電話の使い方も説明している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとに模様を替えたり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作るように心掛けている。	共有空間を含め隅々まで清掃され、館内を清潔に保つように心掛けられている。又、季節に応じた飾り物が職員により用意され入口のドア等が飾られ居心地良く過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングでのソファ、多目的ホール、屋上など自由に過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族の意向に沿って、馴染みのものや写真などを持ってきてもらっている。	ベットは設備として備え付けられているが、寝具はそれぞれで持ち込まれている。入居者が長年愛用した筆筒や写真が居室に置かれ、落ち着いた環境になるよう心がけられている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーにしたり、廊下やトイレなどに手すりを付けたり、運動する機械などを置いている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 安芸ひまわり

作成日 平成 22年 10月 29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の実践がみえない	理念の具現化	年間の目標を設定したりして職員全体で取り組んでいく	半年
2	4	運営推進会議の開催機会の減少、町の職員参加の減少	会議の活発化	メンバーの調整をはかり開催機会を増やし、会議が活発になるようにする。	三か月
3	10	家族等の意見がみえてこない	意見の把握	家族等に要望、苦情等のアンケートや家族会を開催したりして意見をとりあげる	三か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。